

## 領域6 合同インフォーマルミーティング議事録

日本物理学会 2025 年春季大会

2025 年 3 月 20 日(木) 18:00-19:00 オンライン

記録者 白濱(領域代表)

### 議題

1. 領域代表・副代表について（確認事項）
2. 領域運営委員について（承認事項）
3. 学生優秀発表賞、論文賞、米沢富美子記念賞報告
4. 領域委員会報告
5. 一般講演発表件数、概要集提出率
6. 国際学会等のお知らせ

#### 1. 領域代表・副代表について（確認事項）

前回の年次大会で承認された次期領域代表・副代表の確認があった。

次期領域代表（2025 年 4 月～2026 年 3 月）

松田 和博（液体金属分野，熊本大学）

次期領域副代表（2025 年 4 月～2026 年 3 月）

野島 勉（超伝導・密度波分野，東北大金研）

#### 2. 領域運営委員について(承認事項)

現運営委員と次期運営委員（2025/4～2026/3）について、確認がなされた。

次々期領域運営委員（2025/10～2026/9）について以下の通り提案があり、承認された。

中島 陽一（液体金属分野、熊本大学先端科学研究部）

竹内 宏光（超低温分野、大阪公立大学大学院理学研究科）

#### 3. 学生優秀発表賞、論文賞、米沢富美子記念賞報告

##### (1) 学生優秀発表賞

第 79 回年次大会(2024 年 9 月、北海道大学)における学生優秀発表賞の受賞者 8 名が、以下の通り報告された。

液体金属	村山 大輔	阪大院工	第一原理分子動力学法に基づく巨大氷惑星内部環境の炭素-水素-酸素 3 元系の輸送特性
超低温	隈下 敦貴	兵庫県大院理	純良グラファイト上ヘリウム 3 単原子層の整合-非整合相転移領域の熱容量測定

準結晶	阿部 宇希	東理大先進工	Eu系ハイパーマテリアルの作製と磁性
準結晶	野末 悟郎	阪大院基礎工	Au-Al-Gd磁性近似結晶のGd 3d端共鳴光電子分光
超伝導・密度波	金久保 拓真	東大理	温度勾配下における超伝導量子渦の運動
超伝導・密度波	向笠 紘平	東北大院工	二次元altermagnetにおける有限重心運動量超伝導の微視的計算
超伝導・密度波	松本 史弥	阪大理	Nb/Ni薄膜超伝導リングにおける磁気抵抗振動の観測
超伝導・密度波	任 統	東大物工	Effects of Heavy-ion Irradiation on Twin Domains and Vortex Penetration in FeSe

## (2) 論文賞・米沢富美子記念賞

第30回論文賞について、領域6から1件を推薦したが受賞はならなかったこと、第6回米沢富美子記念賞には領域6からの推薦がなかったことが報告された。

## 4. 領域委員会報告

領域委員会を含め以下の件について代表より報告があり、一部審議を行った。

### (1) 2025年春季大会における企画提案

物性領域プログラム小委員会で審議決定された以下の採否が報告された。

招待講演: 9件採択、0件不採択

企画講演: 1件採択、0件不採択

チュートリアル講演: 1件採択、0件不採択

シンポジウム(一般): 8件採択、0件不採択

シンポジウム(共催): 1件採択、0件不採択

### (2) 計算物理領域の試行について

- 試行について大きな反対はなかったが、賞の審査やプログラム等、領域の負担が増えないよう改めて確認された。新設の意義ありと認められたとして、今後は理事会に仮領域として新設を答申する。
- 計算物理領域との合同セッションについて、同領域の3つの第1キーワードに基づくセッションとの合同について議論した。「高性能計算」「計算アルゴリズム」「データ駆動科学」3セッション全てとの合同について反対がなかったため、IM後に物理学会に3セッション全てとの合同希望を提出した。なおIMではプログラム編成の複雑化に対する懸念が意見として出された。

### (3) 講演概要の英語化について

領域による意見の差が大きく賛否は分かれたが、全体として現状維持を推す声が多く、完全な英語化には否定的な意見が多かった。

(4) 大会運営委員会(新設予定)の議事録(第 1,2 回)より

(4-1) 今後の大会の日程・開催地について

(ア) 年次大会と分科会の開催時期・日程について

- ① 3月に春季大会(オンライン)、9月に年次大会(対面)と、当面の間は開催時期を固定する。
- ② オンライン開催は「土日祝日を含まない連続した平日4日間」、または「土日祝日を挟む平日4日間」で調整する。
- ③ 対面開催は現地会場の都合を優先するため「極力、土日祝日避ける」ととどめる。

(イ) 今後の大会について、以下のとおり開催が決定した。

- ① 2026年春季大会(オンライン): 2026年3月23日(月)~26日(木)
- ② 2027年春季大会(オンライン): 2027年3月16日(火)~19日(金)
- ③ 第81回年次大会(2026年): 2026年9月14日(月)~17日(木)@東京大学(駒場キャンパス)(第80回年次大会(2025年): 2025年9月16日(火)~19日(金)@広島大学はすでに決定)

(4-2) 概要集(記録保存用DVD版)の今後の取り扱い

購入および発送を、年度を跨がないように大会の翌月以降とする。

購入申込は従来の参加登録画面からではなく、大会翌月にDVD版申込専用ページから受け付けるように変更する。

(4-3) 講演申し込み時期の調整について

講演申込数の増加を見込む対策として、一般講演の申込時期を1か月程度遅くする。それに伴い、プログラム校正作業の煩雑さを減らすため、登壇者変更、講演取消、講演移動以外は、原則受け付けない方針とする。

共著者の氏名・所属の修正・追加、題目変更は講演申込期間中にのみ受け付ける。

(4-4) オンライン開催時(春季大会)の会員(学生)の聴講無料化について

以下の条件のもと、オンライン開催時は「聴講のみの会員(学生)」の参加登録を無料とする。

- ・ 無料聴講は早期参加登録のみ。(期日後参加登録は有料。)
- ・ 非会員(学生)、会友(学生)は有料。

(5) オンライン大会でのポスターセッションのあり方について

アンケート結果をふまえ、2026年春季大会以降に「ポスター発表に代わる発表形式」の導入を視野に検討する。領域6でも「ポスター発表に代わる発表形式」(ショートプレゼンテーション等)の提案を歓迎する。

(6) 80周年記念国際シンポジウムについて

日本物理学会80周年記念事業として、東京大学(駒場キャンパス)で開催される第81回年次大会前日の2026年9月13日に80周年記念国際シンポジウムを開催予定。また、

国内外の研究者によるサテライトセッション（英語によるシンポジウムに相当）を大会期間中に行う。

(7) 同時翻訳字幕機能の導入について

2025年春季大会にてZoomの同時翻訳字幕機能を試行的に導入した。聴講者側で表示の有無や言語設定が可能。座長や運営委員側の操作や指示は不要。積極的に利用を促すものではないが、今後の運用の参考のためご意見をお願いします。

5. 一般講演発表件数、概要集提出率について

一般講演の発表件数の推移と講演概要提出率について代表より報告があった。発表件数は前回の年次大会の半分以下と大きく減少し、領域全体でも同様の傾向であった。理由として、オンライン大会であることと、前回の年次大会が北海道大学での開催であり、発表件数が多かったためであるとの意見があった。

6. 国際会議等のお知らせ

第30回低温物理学国際会議(LT30)(2025年8月、スペイン)、超低温物理学国際会議(ULT2025)(同、イギリス)について周知された。